



平成 28 年 12 月 5 日

九州地方整備局

立野ダム工事事務所

立野ダムに関わる最近の取り組みについて【第 4 報】

～理解を深めて頂くための取り組み及び立野ダム建設予定地周辺の復旧状況～

1. 理解を深めて頂くための取り組み

○「立野ダム建設に係る技術委員会」（各分野の第一人者で構成）において、流木や巨石により洪水調節機能に支障がでるような影響はないことを含め、公開の場で議論いただき、「熊本地震後も立野ダムの建設に支障となる技術的な課題はなく、立野ダムの建設は技術的に十分可能」等との結論を得ました。

○この委員会の結論について、地元の方々のご理解を深めて頂くための取り組みを継続的に行っておりますので、その状況をお知らせいたします。

【最近の取り組み】

- 1) 熊本県議会建設常任委員会の皆さまに、ダム建設予定地周辺の現地説明を行いました。 (別紙 1)
- 2) 熊本市長に、ダム建設予定地周辺の現地説明を行いました。 (別紙 2)
- 3) 白川水系の各地で実施してきた治水パネル展を、12 月 5 日より菊陽会場にて開催し、立野ダムに関するパネルを展示します。 (別紙 3)

○今後も県や市町村と連携し、ご理解を深め頂くための取り組みを行っていきます。

2. 熊本地震後の立野ダム建設予定地周辺の復旧状況

○復旧が完了したダムサイト上流の工事用仮橋を活用し、11 月 15 日に左岸工事用道路の工事に着手し、復旧を進めています。

今後、この工事用道路を活用し、仮排水路トンネル等の復旧を進めていきます。

(別紙 4)

【問い合わせ先】

(1)に関する問い合わせ)

国土交通省 九州地方整備局

TEL : 092-471-6331 (代表)

河川部 河川計画課長

坂井 佑介 (内線 3611)

(2)に関する問い合わせ)

国土交通省 立野ダム工事事務所

TEL : 096-385-0707 (代表)

技術副所長

寺下 進一 (内線 204)

○11月25日に、熊本県議会建設常任委員会の全ての議員(7名)及び阿蘇郡市選出県議会議員(2名)の皆さまに、委員会の結論をまとめた概要版なども用いて、立野ダム建設予定地周辺で現地説明を行い、現地の状況について、ご理解をいただきました。



ダムサイトの視察の様子



地表亀裂箇所の視察の様子

○11月27日に、熊本市長及び職員の皆さまに、委員会の結論をまとめた概要版なども用いて、ダムサイト、横坑など立野ダム建設予定地周辺を視察いただきながら説明を行い、現地の状況について、ご理解をいただきました。



ダムサイトの視察の様子



横坑内の視察の様子

治水パネル展の開催

別紙3

○白川水系の各地で実施してきた治水パネル展を、12月5日より菊陽会場にて開催し、立野ダムに関するパネルを展示します。

【開催場所・期間】

◇杉並木公園管理センター

住 所: 菊陽町大字原水5326

期 間: 平成28年12月5日(月)～16日(金)
8時30分～17時(火曜日休館)



会場位置図



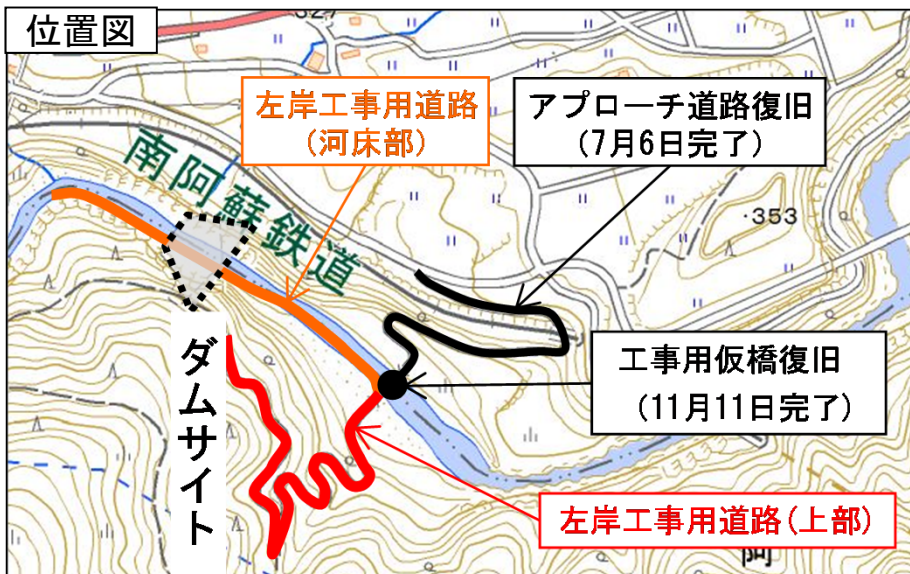
パネル展の状況(他会場)

熊本地震後の^{たての}立野ダム建設予定地周辺の復旧状況

別紙4

○復旧が完了したダムサイト上流の工事用仮橋を活用し、11月15日に左岸工事用道路の工事に着手し、復旧を進めています。

○今後、この工事用道路を活用し、仮排水路トンネル等の復旧を進めていきます。



左岸工事用道路 (河床部) の復旧状況



(参 考)

「平成 28 年熊本地震」を受け、立野ダム工事事務所では、現場復旧や地元の方々のご理解を深めていただくための様々な取り組みを行っています。

これまでの取り組みは以下のとおりです。今後、随時更新・記者発表してまいります。

【熊本地震後の立野ダム建設予定地周辺の復旧状況について】

- 熊本地震及びその後の出水で被災した河川内にアプローチするための道路の復旧を 7 月 6 日に完了しました。
- 熊本地震及びその後の出水で被災したダムサイト上流の工事用仮橋の復旧が 11 月 11 日に完了しました。
- 復旧したダムサイト上流の工事用仮橋を活用し、11 月 15 日に左岸工事用道路の工事に着手し、復旧を進めています。
- 今後、この工事用道路を活用し、仮排水路トンネル等の復旧を進めていきます。

【立野ダム建設に係る技術委員会について】

- 学識者からなる「立野ダム建設に係る技術委員会」を設置し、平成 28 年熊本地震後の立野ダム建設に関し、技術的な確認・評価に関する検討を公開の場で議論いただきました。
- 8 月 17 日の委員会で「熊本地震後も立野ダムの建設に支障となる技術的な課題はなく、立野ダムの建設は技術的に十分可能であると考えられる」等との結論を得ました。

【理解を深めて頂くための取り組みについて】

- 委員会の結論を「立野ダム建設に係る技術委員会報告書（概要版）」としてわかりやすくとりまとめ、9 月 16 日に立野ダム工事事務所 HP に掲載しました。また 9 月 20 日より白川流域の 21 箇所を設置・配布しています。
- 「立野ダム建設に係る技術委員会報告書」を 9 月 23 日に立野ダム工事事務所 HP に掲載しました。また 9 月 26 日より白川流域の 21 箇所でご覧しています。
- 委員会の結論に関する問合せ窓口を設置しました。

※問合せ窓口：九州地方整備局 立野ダム工事事務所 調査設計課
TEL：096-385-0707（代表）
E-MAIL：tateno-otazune@qsr.mlit.go.jp

- 委員会の結論をまとめた概要版を用いて立野ダム建設予定地周辺の現地説明を行っています。

- ・ 9 月 13 日 南阿蘇村（村長及び職員、村議会の全ての議員の皆さま） 37 名
- ・ 10 月 4 日 菊陽町（町長及び職員、町議会の議員、区長の皆さま） 38 名
- ・ 10 月 7 日 大津町（町長及び職員、町議会の全ての議員の皆さま） 35 名
- ・ 10 月 14 日 阿蘇市（市長及び職員の皆さま） 3 名
- ・ 10 月 18 日 熊本県（知事及び職員の皆さま） 6 名
- ・ 11 月 25 日 熊本県（県議会建設常任委員会の全ての議員及び阿蘇郡市選出県議会議員、職員の皆さま） 18 名
- ・ 11 月 27 日 熊本市（市長及び職員の皆さま） 9 名

- 立野ダム建設予定地の現地状況や工事状況が確認できる眺望場所に説明パネルを設置しました。

○白川水系の各地で実施している治水パネル展において、立野ダムに関するパネルを展示しています。

※これまでの取り組みは、

「地震後の立野ダムに関わる区域の状況について【第 1 報】～【第 6 報】」、

「立野ダムに関わる最近の取り組みについて【第 1 報】～【第 3 報】」で公表しています。